

## 横浜市中小企業振興基本条例に基づく

### 令和4年度の実施状況について

1 中小企業振興施策の実施状況について ..... 2

【報告書掲載事業】 2事業 / 全体 67事業

番号	事業名	掲載頁
44	国際コンテナ戦略港湾等推進事業	2 (冊子 37)
45	客船の寄港促進	2 (冊子 37)

2 工事、物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大  
について ..... 3

# 1 中小企業振興施策の実施状況について

44

## 国際コンテナ戦略港湾等推進事業

(単位:千円)

R4決算額	530,339【0】
R3決算額	571,811【0】

(港湾局物流運営課・港湾局政策調整課)

※【 】は区配額

### 【事業内容】

国際コンテナ戦略港湾として、横浜港への貨物集約を促進するため、荷主企業等へのポートセールスや基幹航路の維持拡大などに対する支援を実施します。これらの取組により、横浜港における貨物取扱量の増加を図り、約99%以上が中小企業で構成される、港湾物流に携わる企業の事業活動の活性化につなげます。また、横浜港埠頭(株)が実施する警備、清掃等の埠頭管理業務において、市内中小企業を優先で発注します。

### 【令和4年度の具体的な実績・成果、改善の取組】

横浜港への集貨に向け、横浜川崎国際港湾(株)を中心に国の補助制度を活用した航路網の拡充への支援や、国と連携したポートセールスを実施しました。これにより、令和4年は内貿コンテナ取扱個数が過去最高の35万個となり、令和5年3月には国内唯一の北米東岸航路が新規就航しました。また、横浜港埠頭(株)の埠頭管理業務での市内中小企業への優先的な発注を徹底しました。さらに、地方創生臨時交付金を活用し、港湾運送事業法に基づく事業を行う市内中小事業者を対象に、燃料費高騰分を支援しました。

### 【課題と今後の対応】

国や横浜川崎国際港湾(株)と連携し、引き続き集貨策に取り組むとともに、横浜港の貨物取扱量の拡大を図ります。また、横浜港埠頭(株)の埠頭管理業務においても、引き続き市内中小企業への優先的な発注を行います。

45

## 客船の寄港促進

(単位:千円)

R4決算額	188,877【0】
R3決算額	266,490【0】

(港湾局客船事業推進課)

※【 】は区配額

### 【事業内容】

客船の寄港は、給油・船用品等の需要を生じさせるとともに、乗船客による消費や客船を見に集まった観光客などの消費を喚起させるなど、地域経済に様々な効果をもたらします。

そこで、横浜港では、客船寄港を促進するため、客船ターミナルでの円滑な船舶・旅客の受入を図るとともに、運行会社等への誘致活動を行っています。

これらの取組により、市内中小企業の事業活動の活性化につなげています。

### 【令和4年度の具体的な実績・成果、改善の取組】

関係機関と連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、令和5年3月のダイヤモンド・プリンセス号を皮切りに、国際クルーズの受入を本格的に再開しました。令和4年は、積極的な受入に取り組んだ結果、瀬戸内海を巡る観光船に次ぐ国内第2位の82回の客船寄港回数となりました。また、将来にわたり安全快適な受入に必要なサービス水準を保ちながら、客船の寄港を安定的に継続していくため、受入経費に対する負担として、受益者である客船運航会社から受入設備使用料の徴収を開始しました。

### 【課題と今後の対応】

令和5年度は、過去最多となる年間約200回の寄港を見込んでいます。引き続き、安全・安心で円滑な客船の受入を進め、都心臨海部の賑わい創出及び観光による市内経済活性化につなげていきます。

## 2 工事、物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大について

### (1) 令和4年度の受注機会増大に向けた取組

工事、物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、市内経済の活性化の観点から、従来から市内中小企業者への優先発注を基本方針とし、入札参加機会の確保のため、専門事業者への分離発注やコスト面を考慮したうえでの分割発注を進めてきました。

令和4年度の工事についても分離・分割発注を行うとともに、物品の調達や委託の発注において市内中小企業者に対する優先的な取扱いを実施しました。

令和4年度の契約実績に占める、件数における市内中小企業者の構成比率は93.3%であり、前年度と比べ3.4ポイント増加しました。金額における市内中小企業者の構成比率は21.7%であり、前年度と比べ、3.5ポイント増加しました。

### (2) 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

工事及び委託の分離・分割発注を引き続き徹底するとともに、市内中小企業者向け工事の創出に努めてまいります。

市内中小企業者への発注状況（港湾局契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）								単独随意契約及び大規模契約の合計		
	市内中小企業契約実績								件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減	件数	金額			
令和4年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	6	375,836
	物品	209	100.0	1.2	29,230	100.0	17.9	209	29,230	53	52,282
	委託	140	84.8	3.5	269,288	20.0	2.3	165	1,344,451	96	4,017,356
	合計	349	93.3	3.4	298,518	21.7	3.5	374	1,373,681	155	4,445,474
令和3年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	7	357,167
	物品	170	98.8	▲1.2	21,375	82.1	▲17.9	172	26,032	51	21,787
	委託	143	81.3	3.5	586,537	17.7	▲0.4	176	3,307,206	107	4,893,365
	合計	313	89.9	1.2	607,912	18.2	▲0.8	348	3,333,238	165	5,272,319

※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合です。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）」を除いたものです。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況（財政局契約部契約締結分のうち港湾局分）

	区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）							単独随意契約及び大規模契約の合計		
		市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額
		件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減				
令和4年度	工事	61	87.1	2.2	4,303,976	75.8	19.3	70	5,676,417	12	8,890,076
	物品	19	90.5	▲5.2	84,035	90.2	▲4.9	21	93,177	9	20,541
	委託	31	93.9	0.8	193,666	85.2	1.5	33	227,359	5	21,963
	合計	111	89.5	1.1	4,581,677	76.4	19.2	124	5,996,953	20	8,932,580
令和3年度	工事	73	84.9	0.1	5,881,176	56.5	▲2.7	86	10,412,966	5	643,778
	物品	22	95.7	6.8	48,467	95.1	5.5	23	50,989	3	92,145
	委託	27	93.1	▲3.7	182,748	83.7	▲5.7	29	218,350	6	21,406
	合計	122	88.4	1.1	6,112,391	57.2	▲2.1	138	10,682,305	14	757,329

- ※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。
- ※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合です。
- ※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。
- ※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）」を除いたものです。

【工事の発注状況】

令和4年度の契約実績に占める、件数における市内中小企業者の構成比率は87.1%であり、前年度と比べ2.2ポイント増加しました。金額における市内中小企業者の構成比率は75.8%であり、前年度と比べ、19.3ポイント増加しました。これは、分離・分割発注に努めたことや、新本牧ふ頭関連事業等において、港湾工事の実績のある市内事業者向けに技術習得型JVの採用に取り組んだことなどによるものです。